

第6学年 学級活動（2）学習指導案

指導者

1. 日時 平成28年11月2日（水） 3校時 10:50～11:35
2. 場所 第6学年3組教室
3. 学年・学級 第6学年3組
4. 題材 NHK for School リアル・スマホ・ストーリー 「送った写真のゆくえは・・・」

5. 題材について

（1）児童の実態

本学級の児童はどの教科の課題に対しても真剣に取り組む姿勢が見られる。グループで話し合う時などは自分の考えをまとめたノートを見せたり、ホワイトボードなどを使ったりして相手に分かりやすく伝えようとしている。しかし全体で話し合う時になると、発言に消極的になってしまい、一部の児童の意見で学習がまとまってしまう場面がよく見られる。

調べ学習の時には、インターネットを使用する児童が多く、1学期の総合的な学習の時間には修学旅行先の日光について調べた。またプレゼンテーションソフト「発表名人」を使って、一人ひとりがテーマを決めてまとめ、最終的には自分たちのオリジナルパンフレット作りまで取り組んだ。

事前に行ったアンケートではほぼ100%の児童が家でインターネットを使い、主にスマートフォン・タブレットを利用していることが分かった。また1日の平均利用時間は平日で1時間以上使っている割合が半数を超え、また休日となると60%を超えることが分かった。インターネットの利用内容については、前述した調べ物以外にも、「写真、動画をとる」や「LINE」などが多くあがり、今はまだ数は少ないがSNSを利用し始めている児童もいた。

（2）題材設定の理由

インターネットの普及により、知りたい情報を簡単に素早く得ることができるようになった。またその情報を活用しまとめることで、自分の知識を広げたり、より分かりやすく友だちに伝えたりすることが可能になった。反面、その情報の著作権・肖像権を守った上で活用しなければいけないことや、一度発信された情報は必ずどこかに記録が残ってしまうネットの特性に関してはまだ理解が浅いように思える。インターネットの仕組みを十分に理解し、モラルを守って適切に使っていくことの大切さを伝えたい。

また、話し合うテーマをこのような子どもたちが身近で必要性を感じるものに設定することによって、一人ひとりが考えをより積極的に発信し合い、よりよい生活への実践に繋がるのではないかと考えた。

6. 学級活動（2）の評価規準

集団生活や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団生活や生活についての 知識・理解
写真や動画がインターネット上に流出する事案について、被害者にも加害者にもならないためにできることを考えている。	映像教材のような問題が起きてしまった原因や、どのように行動すべきであったのかを考え、判断し、今後の生活に生かしている。	インターネットの公開性や記録性、流出性などの特性を理解している。

7. 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> インターネットの仕組みについて調べる。 アンケート調査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> PC、サーバー、人などのイラストを使いながらインターネットの仕組みについて見て分かるようにする。 	【関心・意欲・態度】 インターネットを利用状況や、その問題点について真剣に受け止めている。〈アンケート調査〉

8. 本時のねらい

- 実話を基にした映像教材を用いながら、子ども自身にも起こり得ることとして、トラブルの回避策を考えることができる。
- ネット上に一度出た画像は、消せないということを理解し、個人情報の管理について理解を深める。

9. 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点	資料等	目指す児童の姿と評価方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを利用した写真や動画のやりとりについて知る。 誰にでも簡単に発信も受信もできるという特性に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> FacebookやtwitterなどSNSの具体的な例を見せながら説明をする。 	Facebookやtwitterなどの画像	
展開 30分	スマホの写真・画像によるトラブルについて考えよう			
	<ul style="list-style-type: none"> 映像資料「スマホ・リアル・ストーリー」を視聴する。 なぜこのようなトラブルにつながってしまったのかを、それぞれの登場人物の立場にたって考え、ワークシートに記入する。 インターネット上へ画像を載せることの危険性や、トラブルを防ぐために気を付けることを考える。 考えたことをもとに全体で話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> まず前半部分を見せて、どうなるのかを予想させてから、後半部分を見せる。 登場人物の写真を黒板に貼るなどして映像の内容を整理する。 誰にでも起こり得る事案であり、今後トラブルに巻き込まれないように考える必要性が高いことを押さえる。 	映像資料 ワークシート	【関・意・態】 写真や動画がインターネット上に流出する事案について、被害者にも加害者にもならないためにできることを考えている。 〈ワーク・発言〉
終末 10分	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンによる画像のやりとりの長所と、気を付けなければいけない点について理解する。 今後の生活で気を付けていきたいことをワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 良い点も多くあることを押さえ、その使い方に焦点を当てる。 ワークシートを持ち帰り、家庭でも話し合うよう伝える。 		

10. 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<p>・学んだことを振り返らせるとともに保護者からのコメントを朝の会や帰りの会等で紹介し、実践意欲の継続化を図る。</p>	<p>・「トラブルに巻き込まれる可能性があるので、あまり使わない方がよい」という認識にならないように気を付けて指導する。便利で良い点は多々有り、大切なのはその使い方であるということを伝える。</p>	<p>【思考・判断・実践】 インターネットの公開性や記録性、流出性などの特性を理解し、適切な判断のもと、インターネットを利用し、生活に生かしている。 <振り返りカード 観察></p>